

夢 塾 だ よ り

～ 犬に人生を助けられた ～

(第37号) 令和2年 8月31日



「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」 デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏が、2011年8月のニューヨークタイムズ紙インタビューで語った衝撃的な言葉です。その言葉はその後、あらゆる場所で言われるようになりました。先日のTVで大変興味深い話がありました。今までは存在しなかった仕事の話です。

長年勤めていた職場でリストラにあいました。48歳でした。途方に暮れます。再び仕事を探す中、「犬のお散歩代行」というのが目にとまりました。元々犬好きだった彼はその仕事を自分でやることを思い付きま

す。依頼されたお家に赴き、飼い主になり変わり愛犬をお散歩させるという番組でした。一日に5～6匹程度の委託があるようで、1回の散歩につき、30～40分位で2500円ということでした。会社勤めだった頃より収入は減りましたが、なんとか生活していけるまでになりました。腰痛持ちだった彼は一日2万歩程度歩くうちに、腰痛も改善したと言っていました。まさに、「犬」に人生を助けられたという話でした。私も愛犬（チャー子）に毎日癒やされていて、なくてはならない存在です。

昨今の「運転代行」に代表されるように、これからの社会は〇〇代行 △△代行と代行とつく職業がいろいろなところで出現しそうです。機械化による人員カットの他に、人でないとできない仕事の代行というところがニュービジネスになることでしょう。「新型コロナウイルス」の出現で、従来の社会観は180度変わりました。予想を超えた社会での私たちの暮らしがもたらす新しい職業が表れそうです。「禍転じて福となす」そのような努力を惜しまないで頑張りましょうね。